

2021年12月17日



2021年「グローバル協力訓練枠組み」(GCTF) 合同委員会 共同声明

2021年12月17日、日本台湾交流協会（JTEA）は、台湾外交部、台湾米国協会（AIT）、豪州弁事処と共に、第7回GCTF（グローバル協力訓練枠組み）合同委員会を開催した。会議では、日本、台湾、米国、豪州の代表が本年のGCTFの活動を振り返り、2022年に向けた優先協力分野について意見交換を行った。

GCTFは、台湾がグローバルな問題解決に貢献し、その専門知識を世界中のパートナーと共有するためのプラットフォームを提供するために設立された。

COVID-19の世界的な感染拡大が継続している中、GCTFを通じて、幅広い分野での協力関係を強化している。昨年同様、世界各国の政府関係者や専門家、学者を台湾に招待することはできなかったが、昨年設立された専門家チームであるGCTF事務局の大きな支援のもと、13件のバーチャルGCTFワークショップを成功裏に開催することができた。本年は、英国、カナダ、スロバキア、イスラエルが、ゲスト共催者として異なるテーマで参加し、本年はGCTFの足跡をさらに世界に広げるため、GCTFフランチャイズモデルも始動した。本年のGCTFフランチャイズモデルでは、チェコ共和国、セントクリストファー・ネイビス及びエスワティニのそれぞれでイベントを開催した。GCTFのウェブサイト(<https://www.gctf.tw>)において、より詳細な情報を提供している。

来年は、法執行、保健協力、持続可能な海洋、ジェンダー平等、スマート農業、インターネットの自由とデジタル経済の分野でGCTFワークショップを開催する計画である。

GCTFフルパートナーは、2019年に加わった日本台湾交流協会に続き、本年は豪州弁事処をフルパートナーとして迎えた。GCTFを通じて、有志国との専門的な協

2021年12月17日

力関係を拡大し続けていく。

2015年6月1日のGCTF設立以来、45件の国際ワークショップを開催し、延べ100カ国、約3,500人の政府関係者や専門家が参加してきている。この6年間で、GCTFは対象となる議題や参加国数において大きく拡大し、国際協力のための真のグローバルプラットフォームとなった。我々は、GCTFを通じた協力範囲を拡大するために、更に多くの有志国が参加することを歓迎する。

外交部長

吳 釗燮

米国在台協会所長

サンドラ・オードカーク

日本台湾交流協会台北事務所代表

泉 裕泰

豪州弁事処

ジェニー・ブルームフィールド